

○「普賢寺地区で第1回地区連開催」

(京都府京田辺市普賢寺地区第1回連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

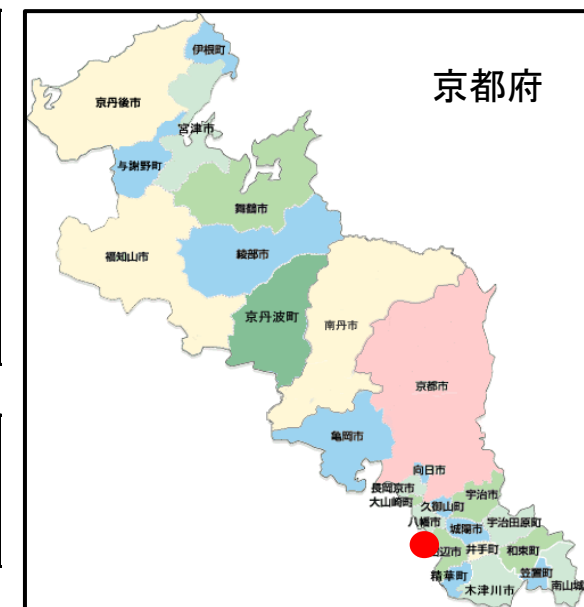
- 日時(時期): 平成30年9月13日 19:30～21:30
- 場 所: 普賢寺ふれあいの駅
- 出席者: 委員6人、委員以外2人
農業会議 多田補佐
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○ 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区の6区の米生産の現状を意見交換した。
- 区ごとにライスセンター、作業受託組織の有無が異なり、普賢寺地区として連携できないかを検討した。
- 打田と水取、高船と天王、多々羅と普賢寺の間で、既に作業が受委託されている状況がある。
- 作業オペレータの区を越えた調整ができないかとの意見がだされた。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 普賢寺区に新規で農業参入する者が増えてきていること、消費地に近いという地の利があるという状況を踏まえ、今後、普賢寺地区で何ができるのかという声があった。

4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援